

2024年夏号 あやかりの杜図書館 YA 担当発行

村内の中学生・高校生のみなさんに YA 向けの新着本やオススメの本を紹介する「NEWS@あやかりの杜図書館 YA コーナー」です。いよいよ、夏本番ですね！睡眠水分充分にっていますか？夏休みは、涼しい図書館へ GO！利用カードを持っているなら時間制限なしでレファレンス席、使えます。読書やお勉強(考え事にも?)に活用してね。図書館内では飲食 NG ですが、ロビーでなら OK。おやつと水筒持ってあやかりの杜でのんびり夏休みならではの時間を過ごして欲しいです(^\_^)

## おすすめの新しく入ったよみもの



タイトル	著者	出版社
インサイド	佐藤まどか	静山社
アフェイリア国とメイドと最高のウソ	ジェラルディン・マコックラン	小学館
翼はなくても	レベッカ・クレーン	静山社
神々と戦士たち 2~5巻	ミシェル・ペイヴァー	あすなる書房
やんごとなき読者	アラン・ベネット	白水社

## YA 文芸ホリオコシ 「少し古いけど読まずに大人になるにはもったいない作品」を紹介するコーナー

『終物語 (オワリモノガタリ)』シリーズ 講談社 (2013年10月)

西尾維新／著

内容紹介： 十月下旬、私立直江津高校三年生の阿良々木暦は、転校してきたばかりの一年生女子、忍野扇を後輩の神原駿河から紹介された。彼女はとある事情から転校を繰り返しており、新しい学校に来るたびにその図面を作成しているという。そして、直江津高校の図面を作成したところ不思議な点があるのだと…。どうやら彼女は、かつて暦が世話になった、怪異の専門家「忍野メメ」の姪っ子らしい。そんな彼女を中心に明かされる、阿良々木暦の原点を明らかにするとともに、怪異に立ち向かっていくストーリー。(YA 担当の独り言：登場人物達それぞれの個性が強烈。著者も恐らく変態。上巻も中巻も下巻も続巻も…あとがきがまるでお坊さんの説法…)

## おすすめの新しく入ったテーマの本



「わかり合えない」からはじめる国際協力 吉岡 大祐／著 旬報社

22歳で単身ネパールに渡った著者は、ヒマラヤ青少年育英会を立ち上げ就学支援活動を始めた。カトマンズ郊外の村に小学校を開校して20年、活動の記録から、あらためて国際協力とはなにかを考える。



10代のうちに考えておきたいジェンダーの話 堀内 かおる／著 岩波書店

すべての人が自分らしくいられるために、今何が必要なのか。社会はどうあるべきなのか。〈社会的につくられる性別概念〉であるジェンダーから見えてくる現代社会の様相を取り上げ、ジェンダーとは何かを明らかにする。



賢者に学ぶ、「心が折れない」生き方 真山 知幸／著 誠文堂新光社

どんなときもあるがままに生きた良寛、ピンチのたびに成長した喜劇王チャップリン、風刺画で戦争を批判しつづけたトーベ・ヤンソン…。現代をしなやかに生き抜くヒントとなる偉人=賢者たちのエピソードを、漫画を交えて紹介。



〈読んでふりしただけでぶっちゃけよく分からん、あの名作小説を面白く読む方法

三宅 香帆／著 KADOKAWA

あらすじを先に読んでおく、文章を楽しむ、多重人格になってみる、違和感から読んでいく…。古今東西のさまざまな名作小説を取り上げて、面白く読む方法を伝授する。小説の読み方基礎講座も収録。



「好き!」の先にある未来 わたしたちの理系進路選択 加藤 美砂子／編著 岩波書店

理系科目が好きで将来は理系に進みたいけれど、どんな進路や仕事があるんだろう? 女子中学生・高校生に向けて、理系に進んだ11人の先輩が自分の体験をもとに進路や仕事について語る。

あやかりの杜図書館 HP へ GO!

